

地域づくり活動 NPO 事業助成事業 実績報告

事業区分 (12-1)

団体名	生涯学習応援隊so-so.39	代表者名	(職名) 代表	(氏名) 北村久美子
事業名	SRHR たんばプロジェクト その1			

< 事業実施実績 >

年月日 定例は「月1回」 「毎〇曜日」等 で記入	場所	参加者 一般(ス タッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) 講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
5月11日	氷上住民センター会議室	1 (1)	相談。事業に参加してもらえる女性の情報収集
6月24日	氷上住民センターフリースペース	1 (2)	打ち合わせ。事業内容についての確認と参加者について
7月11日	氷上住民センターフリースペース	(2)	メンバーで事業内容確認。女性の健康と性教育についてリサーチに行く先を相談
7月19日	丹波市健康センターミルネ	2 (1)	丹波市健康課上野係長、細見保健師と懇談。保健師の出前性教育について情報収集。
7月23日	前山地区自治振興会オアシスいつせ	5 (1)	事業に協力いただける40代～50代の女性の顔合わせ。医療関係者が多く、具体的な情報が得られそう。まずは、大人向けの講演会をしよう確認した。
7月31日	丹波市教育委員会	2 (1)	足立教育部長、学校教育課池内課長と面談。丹波市の性教育の状況をリサーチした。
8月 1日	丹波市立新井小学校	1 (1)	新井小学校長と面談。小学校現場での性教育、ジェンダー教育について。1月26日に性教育参観日があるので見に来てもいいですよ。とお誘いをいただいた
8月26日	氷上住民センターフリースペース	2 (1)	講演会を11月4日に決定。チラシ案の相談
8月28日	オンライン	(2)	講演会チラシをサポート会員に依頼
9月 4日	県立氷上西高校	3 (1)	高校の性教育の現状をリサーチ。西本教頭、藤田教諭、杉本養護教諭。11月の保健体育の時間を利用して出前性教育授業をさせてもらうことになった
9月10日	前山地区自治振興会オアシスいつせ	4 (2)	性教育事業の検討。講演会の進め方も相談
～9月22日		(1)	講演会チラシの後援名義申請（丹波市、丹波市教育委員会、丹波市社会福祉協議会）。後援名義使用OKが出てプリントパックに印刷入稿
9月26日～	丹波市内各所	(3)	丹波市内公共施設、小学校、認定子ども園へチラシ配布依頼。事務局仕事（事業管理費）
9月30日	丹波市市民プラザ	5 (2)	丹波市男女共同参画センター主催の講座に参加。その後、プロジェクトの内容の検討。特に11月実施予定の氷上西高の授

			業内容について
10月22日	前山地区自治振興会オアシスいつせ	4 (3)	11/4の講演会について担当や準備の確認。
10月29日	前山地区自治振興会オアシスいつせ	2 (3)	11月の氷上西高の出前性教育の内容について確認。デモ授業を実施
11月 4日	ハートフルかすが大会議室	22 (3)	神戸市立看護大学 高田昌代教授の講演会。会場での講演以外にYouTube期間限定配信を実施。多くの方視聴いただいた。
11月 5日	氷上住民センターフリースペース	2 (3)	氷上西高出前性教育 1 回目の事前確認。
11月 7日	兵庫県立氷上西高校	2 (2)	氷上西高出前性教育 1 回目
11月12日	氷上住民センターフリースペース	3 (1)	氷上西高出前性教育 1 回目の振り返り。2 回目の確認
11月14日	兵庫県立氷上西高校	2 (2)	氷上西高出前性教育 2 回目
11月18日	氷上住民センターフリースペース	2 (1)	氷上西高出前性教育 2 回目の振り返り。3 回目の確認
11月21日	兵庫県立氷上西高校	2 (2)	氷上西高出前性教育 3 回目
11月25日	氷上住民センターフリースペース	3 (1)	氷上西高出前性教育授業の振り返り
12月17日	前山地区自治振興会オアシスいつせ	3 (2)	氷上西高の性教育授業について、当日の録画を見ながら参加できなかったメンバーを含めて感想の共有。西脇北高校の授業について確認。
12月23日	兵庫県立西脇北高校	2 (1)	西脇市から、代表の北村へのデートDV防止授業の依頼。今後の活動に関する内容なので、希望する活動メンバーが同行。ビデオ撮影等をサポート。
1月21日	前山地区自治振興会オアシスいつせ	3 (3)	小中学校への出前授業、PTA向けの研修についての提案。小学校の性教育事業参観の詳細について。
1月26日	丹波市立新井小学校	(1)	8月に意見交換をしていただいた丹波市立新井小学校のオープンスクールが開催され、全学年で「性教育」が実施された。5、6年生を見学。NHK for Schoolの素材を使ってLGBTQ+について学習されていた。終了後、校長先生と面談。
2月 3日	前山地区自治振興会オアシスいつせ	4 (3)	小中学校への出前授業、PTA向けの研修についての提案。発信方法について。

2月25日	前山地区自治振興会 オアシスいつせ	4 (3)	小中学校への出前授業、PTA向けの研修についての提案書の検討。 今年度の振り返り、次年度の事業についての確認
2月27日	丹波市教育委員会	1 (1)	学校教育課池内課長と面談。小中学校への出前授業・講座の案内について、配布時期などを相談しアドバイスをいただく。

< 効果と成果 >

当団体は、所在地の丹波市で唯一女性と子どもの人権擁護、性暴力根絶を目指して活動してきたが、なかなか市内での啓発活動はままならない。特に、性に関する問題は表面化しないのに「予防学習」に目を向ける施策には消極的な地域だ。しかし、社会状況が一変し、義務教育の指導要領も変化し「命の安全教育」に力を入れ出した。そこで、事業の重要性を感じて協力してくれる参加者が出てきた。以前、当団体が実施した子育て支援事業に参加してくれた一世代若い母親達だ。医療従事者が多く、現場の声も聞かせてくれた。また、中高生の子どもを持つ母親達なので青少年の様子、学校での学びも知ることができた。丹波市でSRHRについて啓発を行っているであろう健康福祉部の保健師とも情報交換ができた。学校教育課や小学校校長とも面談した。まず今年行った講座では会場参加以外に、オンラインでも内容を限定公開した。地方新聞に取り上げてもらった。高校での性教育授業にも繋がった。次年度も継続できるようにアプローチしたい。

< 今後の展望 >

団体として久しぶりにしっかり女性の権利について、メンバーや事業協力者と意見交換ができ、実際の活動に繋がった。地域柄、団体の信頼性や事業の整合性を測るには公共との繋がり、丹波市、丹波市教育委員会、丹波市社会福祉協議会等との関係は大事だと思う。今後も意見交換をしながら、事業を進めていきたい。また、まずは「女性の体と心の健康と権利」をテーマにしたが、男性はもちろん、様々な性を持つ方々のことも念頭に入れた活動が必要だと感じた。特に LGBTQ+ の方は 10 人に 1 人とされている、やはり女性だけに止まらないアプローチ、表現も大事だ。広く性教育の必要性、体と心を守ることを伝えていきたい。目標だった若い世代との連携は、授業を通じて価値観等を知ることができた。次年度は、もう少し具体的な意見交換を実現させたい。丹波市内他の県立高校、また市内の中学校でも授業が実現するように活動を深めていきたい。

< 収支決算書 >

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	4 5 0 , 0 0 0
自己資金	4 0 , 8 2 6
合計	4 9 0 , 8 2 6

(支出)

区分	項目	金額(円)	左のうち 助成対象金額(円)
直接経費	謝金	236,000	236,000
	人件費	105,000	65,000
	資料代	19,270	19,000
	その他(印刷・コピー代等)	30,556	30,000
	小計	390,826	350,000
間接経費(一般管理費)		100,000	100,000
合計		490,826	450,000